

第4学年1組 音楽科学習指導案

題材名 様子を思いうかべながらきこう

教材曲 舞踊組曲「ガイーン」より 剣の舞（ハチャトゥリアン作曲）

曲 想	剣を持って踊る様子の移り変わりを表した軽快で色彩豊かな管弦楽曲 旋律；序奏と結尾の旋律で踊りの始めと終わりの様子が表現され、同音で刻まれる軽快で歯切れの良いA、なめらかなB、力強いCの旋律で、踊りの様子が表現されている。 形式；踊りの様子が序奏・A・B・C・A・結尾の形で表現されている。 強 さ；Aをf、Bをp、Cをffで演奏され、踊りの様子の移り変わりが表現されている。 音 色；高音楽器や木琴、金管楽器、打楽器の音色で踊りの様子を表している。 奏 法；A・Cをアクセントで歯切れ良く、Bをなめらかな奏法で様々な踊りの様子を表している。	聴 く 内 容		聴 く 活 動
		○ 剣を持って踊る様子の移り変わりを想像豊かに聴き取る。 ① 序奏と結尾の旋律から、踊りの始めと終わりの様子を聴き取る。 同音で刻まれる軽快で歯切れのよいA、なめらかなB、力強いCの旋律から、様々な踊りの様子を聴き取る。 ② 序奏・A・B・C・A・結尾の曲の形を捉え、踊りの様子の移り変わりを聴き取る。 ③ 序奏・A・B・C・A・結尾の強弱の変化から、踊りの様子の移り変わりを聴き取る。 ④ 木管・金管楽器や打楽器の音色を感じ取り、様々な踊りの様子を聴き取る。 ⑤ A・Cの歯切れの良い奏法やBのなめらかな奏法が、様々な踊りの様子を表していることを聴き取る。	① ・序奏と結尾の旋律から、踊りの始めと終わりの様子を想像して聴く。 ・A、B、Cの旋律を比べて聴く。 ② ・序奏・A・B・C・A・結尾の曲の形を感じて聴く。 ・踊りの様子の移り変わりを想像して聴く。 ③ ・序奏・A・B・C・A・結尾の旋律の強さを比べて聴く。 ④ ・木管・金管・打楽器の音色を感じて聴く。 ・楽器の音色から様々な踊りの様子を想像して聴く。 ⑤ ・歯切れの良い奏法やなめらかな奏法を感じて聴く。 ・A・CとBの奏法の違いを比べて聴く。	

教 師 の 指 導

指導目標	・管弦楽曲に親しみ、進んで音楽を聴くことができる。(音楽に対する関心・意欲・態度) ・曲想の変化を感じ取ったり、場面の様子を想像したりして聴くことができる。(鑑賞の能力)				
指 導 内 容	指 導 方 法				
・A・B・Cの旋律を比べて聴くこと。 ・序奏・A・B・C・A・結尾の曲の形を感じて聴くこと。 ・序奏・A・B・C・A・結尾の強弱の変化を聴き取ること。 ・木管・金管楽器や打楽器の音色を感じて聴くこと。 ・歯切れの良い奏法やなめらかな奏法を比べて聴くこと。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">指導計画</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">指導の手だて</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> 1 } 2 } 3 } 2時間 4 } (本時2/2時) 5 } </td> <td style="vertical-align: top;"> ・剣の模型 ・グループ活動 ・編集MD ・板書の工夫 </td> </tr> </table>	指導計画	指導の手だて	1 } 2 } 3 } 2時間 4 } (本時2/2時) 5 }	・剣の模型 ・グループ活動 ・編集MD ・板書の工夫
指導計画	指導の手だて				
1 } 2 } 3 } 2時間 4 } (本時2/2時) 5 }	・剣の模型 ・グループ活動 ・編集MD ・板書の工夫				

(1) 本時指導に当たって(2 / 2時)

前時までに子ども達は、「剣の舞」がバレエ「ガイーヌ」で、主人公ガイーヌの結婚をお祝いする場面で踊られる楽曲であることを知り、序奏は踊り手が登場する場面であること、結尾は踊り手が集まって最後のポーズをとっている場面であることを捉えている。また、踊りの場面が4つあることを聴き取り、1の場面(Aの旋律)から、剣を持って飛び跳ねたり、走りながら回ったりしている踊りの様子を想像して聴くことができている。

A

B

C

そこで、本時指導にあたっては、2・3・4の場面での踊りの様子の移り変わりを想像しながら聴かせていきたい。

そのために、まず、グループで2の場面(Bの旋律)と3の場面(Cの旋律)を聴き、どのような踊りをしているのかについて話し合う。その際、曲想とかかかわっている旋律や強弱、音色、奏法などの特徴から離れてしまわないように、何度も繰り返して聴き、「音が弱くなったから、一人だけで踊っているみたい」「音がはずんでいるから、跳び上がっているような踊り」というように、どうしてその動きを想像したのか理由も考えていくようにする。そして、グループで話し合ったことを全体で交流し合い、子ども達の発言に合わせて楽曲を聴き、全体で確かめながら踊りの様子をまとめていく。

次に、4の場面(Aの旋律)の踊りの様子について考えていく。ここでは、全体で1の場面(同じAの旋律)との聴き比べを行い、前時に考えた1の場面の踊りの様子と同じであることを捉えさせたい。

最後に、話し合った踊りの様子を板書をもとにふりかえり、場面の様子の移り変わりを想像しながら一曲を通して聴かせ、旋律や音色など「剣の舞」の楽曲のもつおもしろさや楽しさを味わって聴かせていきたい。

(2) 本時の目標

- ・管弦楽曲に親しみ、進んで音楽を聴くことができる。(音楽に対する関心・意欲・態度)
- ・旋律や強弱、音色、奏法等から、踊りの様子を想像して聴くことができる。(鑑賞の能力)

(3) 準備

「剣の舞」のCD、編集MD、デッキ、グループ活動用画用紙、踊り手の切り抜き

(4)展開

聴く活動と聴く内容	指導の手だて
<p>1 前時学習を想起し、本時のめあてをつかむ。</p>	<p>○ 曲の形式や1の場面の踊りの様子について想起させるために、一曲を通して聴き、板書を提示する。</p>
<p>めあて 2・3・4場面でのどのようなおどりをしているのか、思いうかべながらきこう。</p>	
<p>2 2の場面(Bの旋律)と3の場面(Cの旋律)での踊りの様子を思い浮かべながら聴く。</p> <p>(1) グループでB・Cの旋律を聴き、どのような踊りをしているか話し合う。</p> <p>○ 踊りの様子とそのわけ</p> <p>(2) 全体で交流する。</p>	<p>○ 何度も繰り返して聴き、踊りの様子を想像できるようにするために、各グループにデッキ・編集MDを準備する。</p> <p>○ 話し合いのみに陥らないようにするために、常に音楽を聴いて確かめながら考えたり話し合ったりする。</p> <p>○ 子どもたちの発言に合わせて、踊りの様子を表した切り抜きを提示する。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>2の場面(Bの旋律)の踊りの様子の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旋律がゆったりとした感じだから、剣で円を描く動き(旋律) ・ 音が弱くなったから、一人だけで踊っているみたい(強弱) ・ フルートの音の所から、かわいらしく回りながら踊っている感じ(音色) ・ なめらかな感じだから、剣を大きくゆっくり動かしているみたい(奏法) <p>3の場面(Cの旋律)の踊りの様子の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p style="text-align: center;">のところで、剣を次々に上に投げている感じがする(旋律)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音が強くなったから、踊り手の人数が多くなったみたい(強弱) ・ 色々な楽器(金管楽器)が出てくるから、どんどん前に出てきて踊る感じ(音色) ・ 音がはずんでいるから、走りながら飛び跳ねているような踊り(奏法) </div>	
<p>3 4の場面(Aの旋律)での踊りの様子を思い浮かべながら聴く。</p> <p>○ 1の場面と同じ旋律であること</p> <p>4 場面の様子の移り変わりを想像しながら聴く。</p> <p>○ 場面ごとの踊りの様子を確かめながら聴くこと</p>	<p>○ 1の場面(Aの旋律)の踊りの様子と同じであることをつかませるために、聴き比べをさせる。</p> <p>○ 「剣の舞」を味わって聴くために、踊りの様子を想像しながら、全曲を通して聴かせる。</p>